

PROFILE KATO

VOL.4

全国最年少の熱気球操縦士

ふじ
わら
かず
き
藤原一稀さん



初めて空を飛んだのは、小学生のころです。

祖父が気球を操縦しているのを見て、自分でも操縦してみたいと思い、ライセンスの試験にチャレンジしました。バーナーで炎を焚き、うまく浮力を得て飛ぶのが難しかったですが、無事に合格できて嬉しいです。

これからは、まずは日本中で、いつかは世界中のいろんなところを飛んでみたいです。

(一社)日本気球連盟が指定する講習と飛行訓練を経て、筆記及び実技試験に見事合格。令和5年3月、「熱気球操縦士技能証」を取得。

令和5年3月現在、17歳での同技能証取得は全国最年少。同時に、加東市内唯一の同技能証取得者。

加西市の気球クラブ「Balloon Team ねひめ」に所属する祖父から指導を受け、同技能証の取得に至った。